

LMcorsa

60  **H.YOSHIMOTO**
 **R.MIYATA**

SUPER GT 2019 Race Report Rd.5 Fuji 500mile GT

8月3日 | 天候：晴れ | コース：富士スピードウェイ | 路面：ドライ_路温46.9℃

Qualifying Day Summary

前戦の結果を受けて新しい挑戦を行なったLMcorsaだったが
コース状況にセットアップが合わず、予選Q1で27位となり
明日の500マイルの決勝レースは、27番手から追いつけることになる

Qualifying Day

6月末に唯一の海外開催となるタイラウンドを戦ったSUPER GTのマシンは、約1ヶ月間の陸と船の旅を経て、7月の第4週に日本に到着した。そこから第5戦の「FUJI GT 500mile RACE」までは、移動日などを除くと1週間足らず。LMcorsaは限られた時間の中で、SYNTIUM LMcorsa RC F GT3の各部をチェックするとともに富士スピードウェイに合わせたセットアップを施すことになった。



昨シーズンから真夏の富士スピードウェイラウンドは、決勝レースの走行距離が500マイル(807km)となり、SUPER GTシリーズの中でもっとも長丁場となった。通常の決勝レースでは、優勝すると20ポイント、2位が15ポイント、3位が11ポイントとなっているが、SUPER GTの規則で決勝レースが700km以上だと優勝が25ポイント、2位が18ポイント、3位が13ポイントと順位によってボーナスポイントが設けられている。どのチームも大量ポイントを狙い上位でフィニッシュしたいのが、この第5戦になる。

開幕戦から第3戦まで連続でポイントを積み重ねてきたLMcorsaだったが、前戦のタイラウンドでは予選で12位となったものの、決勝レースではタイヤトラブルによってライバル勢よりもピットストップ回数が増え、ポイント圏外の15位でレースを終えた。予選こそQ2に進出したが、得意なコースでポイントを取れなかった悔しさはチーム全員が感じていて、今戦に向けてこれまでに試したことのないチャレンジを行なう決断をした。

Qualifying Day

そんな第5戦の「FUJI GT 500mile RACE」は、8月3日（土）に公式練習と予選、4日（日）に500マイルの決勝レースが行なわれる。

3日の8時50分から1時間45分に亘って行なわれた公式練習は、まず第1ドライバーの吉本大樹選手がSYNTIUM LMcorsa RC F GT3のステアリングを握る。持ち込みのセットアップを確認するとともに新たに開発したタイヤを比較する予定だった。だが、ニュースペックのタイヤとセットアップが合わず、連続周回することなくピットインとアウトを繰り返す。途中で赤旗による中断を挟み6回のピットストップでも状況は改善せず、残り15分となったところで宮田莉朋選手にドライバーチェンジ。宮田選手はGT300クラスの専有走行も乗り続け、計10周を周回した。予想に反してセットアップを探るための公式練習となってしまうSYNTIUM LMcorsa RC F GT3は、吉本選手が記録した1分40秒785がベストタイムとなり、GT300クラスの29台中26



番手となった。

番手となった。

<予選>

公式練習後に実施されたサーキットサファリでは、宮田選手が中心となり10周を走行。チームはタイムアップを図るために対処するが、状況が好転することはなかった。

15分間で競われた予選Q1は予定通りの14時50分にスタート。SYNTIUM LMcorsa RC F GT3には宮田選手が乗り込み、コースオープンとともに走行を開始する。2周に渡ってウォームアップを行なうと計測2周目からアタック。まずは1分39秒692のタイムを記録し、翌周には1分39秒460へタイムを伸ばす。計測4周目には1分39秒445のベストタイムをマークし、公式練習から大幅にタイムアップを図った。だが、ライバル勢もタイムを更新したため、結果として28位で予選を終えることになった。しかし、正式な予選結果では上位マシンがベストラップを削除されたために、1ポジション繰り上がった。

今シーズンワーストの27番手から500マイルの決勝レースを走ることになったLMcorsa。明日の決勝レースは4回のピットストップが義務付けられていて、5スティントに別れた長丁場となる。諦めることなくチーム一丸で、少しでも上位に入ることを目標に前進していく。



Team Comment



Director :飯田 章

前戦のタイラウンドでは多くの課題が見つかり、その改善点を洗い出し、大幅な手直しを行ってきました。しかし、改良が上手く生かされず苦しい流れとなってしまいました。もちろんチーム全員が一生懸命やっているのですが、その努力が報われないことに歯がゆさがあります。予選は27位と厳しい結果になってしまいましたが、明日の決勝レースは500マイルと長いので、どんな展開になるか分かりません。最後まで諦めることなく戦っていきます。



Driver :吉本 大樹

タイ戦が思うようにいかなかったのですが、エンジニアと相談して全面的に新たなトライを施しました。また、タイヤも新たに開発したモデルを投入してもらいました。しかし結果として、今戦の状況や富士スピードウェイの特徴に合わせ込むことができませんでした。チャレンジしたことなので悔いはないですが、決勝レースも含めてライバル勢と同等に戦うことが難しいかもしれません。明日の決勝レースは、荒れた展開ならばチャンスがあると思うので、最後まで戦い抜きたいです。



Driver :宮田 莉朋

今シーズンの最初から課題となっているピークグリップの向上を図るために、色々対策を行ってきたのですが、結果として現すことができていません。富士スピードウェイは、RC F GT3 が得意としているコースではないのですが、それでも今シーズンワーストの予選だったので厳しい状況です。予選Q1はミスなく走ったのですがこの結果だったので、大幅な改善がないと明日の決勝レースも苦しいと思います。それでも展開や天候などによっては勝負権があるかもしれないので、チーム一丸で戦っていきます。

